

社内報

No. 25号



平成 23 年 7 月

〈今月の紙面〉

- P1.地震に学ぶ企業の危機管理
 P2.ヒダグループ一四四周年記念
 ボウリング大会・永年勤続表彰
 ヒダ㈱入社式・入社感想
 P3.職場だより
 P4.人事消息・『慈悲共生』・モバイル
 通信情報
 P5.私の趣味・私のペット
 P6.連載リレー小説・社内報が出来るまで・前回「頭の体操」答え・
 編集後記



■薩埵峠(さったとうげ)からの富士山と駿河湾(静岡市清水区) 撮影:伊東瑞秋(ヒダ㈱配送担当)

地震に学ぶ 企業の危機管理



ヒダ株式会社
取締役 営業本部長
井上 和美

大正12年の関東大震災に遭遇した寺田寅彦の言葉「天災は忘れた頃にやってくる」に人間の「性」を感じる。3月11日の東北大震災における津波災害をなぜ食い止められなかったのか考えさせられる。三陸海岸は日本が近代国家として歩み始めた明治以降、明治29年と昭和8年の三陸沖地震と昭和35年のチリ地震により今回以上の壊滅的な津波被害を経験している。先人よりの「言い伝え」などに基づき生活区域を制限したり定期的な避難訓練や防災対策を重ね、昭和45年の十勝沖地震に対しては一定の効果は得られたが、今回はまったくの無力であった。

私は解決するためのキーワードは「風化」と「想定外」にあると考える。災害に遭遇した人たちは恐怖を感じ無意識に安全行動が反射的に身に付く。しかし、それらは次の世代には実体として伝わらず「風化」する。危険地域に立ち入り安全を享受し麻痺させられ経済合理性を優先した行動をとる。

吉村昭さんの「三陸海岸」 大津

波」は明治29年以降の三陸海岸を襲った津波災害の被災者への取材に基づいた記録小説である。我々はテレビを通じて今回の津波の恐ろしさは痛感しているが次世代に伝わらないのと同様に身に付いていないと感ずる。

岩手県の田老町では津波対策は万全に行われ昭和35年のチリ地震の津波では被害が軽微で過信があったのか、今回もまた壊滅的な被害を受けた。これは「想定外」と言えるのか。

私は今後の復旧・復興には「風化」も「想定外」も克服して欲しいと願っている。

「地震に学ぶ企業の危機管理」としても「風化」と「想定外」は付きものとなるが、決して許されるものではない。畑村洋太郎さんの「失敗学のすすめ」に基づく改良・改善が必要である。すなわち業務のなかに無意識のなかに危機管理がビルトインされた仕事の習慣とシステムが必要である。同じ過ちを犯さないことが「企業の危機管理」の重要課題である。

失敗は企業にとって重大な危機であるが繰り返すことは致命傷となる。ヒダ株式会社は今年で創立144年を迎えました。この歴史の中で受けた危機を風化させないため、この地震を機会に各部署で「仕事の習慣とシステム」を見直し、企業として危機に負けない体質強化の改善・改革に努めましょう。

ヒダグループ二四周年 記念ボウリング大会

ヒダグループ二四周年記念ボウリング大会及びパーティーが神明ボウルにて開催されました。

ボウリング大会では、参加者の方々の珍プレー好プレーが続出し、大変盛り上がりしました。今回の優勝者は、芙蓉興発(株)丸子店店長の北條和彦さんでした。その後の立食パーティーでも楽しい時間を過ごし、無事に終了しました。

また、開催にあたり準備等をしてくださった方々には深く感謝いたします。

(ヒダ株 総務部)



記念パーティーの様子



ボウリング大会の様子

永年勤続表彰

ヒダ株式会社、創立二四周年を迎え、四名の方が永年勤続の表彰をされました。

ヒダ株式会社

35年勤続者

ウォール部

猪瀬 元雄

30年勤続者

配送

伊東 瑞秋

10年勤続者

パイル部

大石 祐里

5年勤続者

下水道部

渡辺 由紀子



表彰の様子

ヒダ株入社式

ヒダ株式会社は4月1日、本社において平成23年度入社式を行いました。今年度は3名マテリアル部2名、パイル部1名)の個性豊かな新入社員を迎えました。若いエネルギー

でヒダグループを盛り上げてくれることを期待しています。



入社感想



ヒダ株 マテリアル部
小池 潮美

4月にヒダ株式会社に入社いたしました、マテリアル部の小池潮美と申します。入社してから2ヵ月が経ち、徐々に緊張が解け、会社の雰囲気にも慣れてまいりました。この2ヵ月は思っていたよりもあつという間に過ぎたように感じます。

つい数ヵ月前の3月までは学生でした。大学では主に語学の勉強をし、アルバイトもコンビニや飲食店で

の接客業の経験しかなかったため、初めての営業事務という仕事に毎日奮闘しております。

入社するまでは生コンの単位がmであることも、生コンを打つと表現することも恥ずかしながら知りませんでした。様々な配合によつて単価が変わることも初めて知りました。また電話の仕方やコピー・ファックスの仕方なども初めての経験でした。自分でも何がわからないのかわからないという状態でしたが、先輩方が一から丁寧に教えてくださり、今では微力ではありますが、業務をこなせるようになってまいりました。また毎日の、そして毎月の業務の流れも掴めてきたように思います。

業務中にお客様からどんなに急な注文や要望が入っても冷静に対応している先輩方の姿を日々拝見し、私も臨機応変な対応ができる事務員を目指したいと思いました。そのためにも、まずは専門的な用語や知識を勉強し、深めていくことが大切だと思ふので、これから頑張っていきたいと思ふます。単に扱っている商品の名前を覚えるだけでなく、その商品にどのような効果があるのか、何のために使われるのかを説明できるようにになりたいです。また自分の業務をこなすだけでなく、周りにも気を配れるような社員になりたいと思ふます。

まだまだ至らない点が多いと思いますが、よろしく願いいたします。



ヒダ株 マテリアル部
佐々木 水緒

マテリアル部に配属になりました、佐々木水緒です。静岡産業大学情報学部を卒業しヒダ株式会社に入社しました。入社してもうすぐ2ヶ月が経とうとしており、少しづつではありますがだんだんと業務にも慣れてきました。

「大学生」から「社会人」となり、生活がガラッと変わりました。さまざまなことが学生時代とは異なり困惑することも多いですが、働いている中で新しいことを学び成長していることがたのしくもあります。建築業界についてなんの知識もないまま入社し、入社当初は初めて聞く言葉ばかりで1つ1つの用語の意味もわからないことも多く、不安に思うこともありましたが、はじめはコンクリートがなにできているのか、コンクリートの配合、商品の数える単位など業務を覚える前に1つ1つの言葉を教わるところからはじまりました。優しい先輩方の丁寧な指導で、セメントの手配やお客様について、請求処理、日々の業務などを教わりながらゆつくりではありますが知識を増やしていくことができています。

しかし今はまだ毎日の業務を覚え、こなしていくことで精一杯でお客様

様に商品について質問をされても答えられずに困ってしまうことがしばしばあります。これからは商品についても業務の内容についても知識を深めていき、お客様から信頼を得られるように成長していきたいと思っています。

まだまだ至らない点も多く、迷惑をおかけすることも多いと思いますがこれからも一生懸命がんばりますのでよろしくお願いします。



ヒダ(株)パイル部
田形 啓多

皆さんはじめまして。2011年の4月1日よりヒダ株式会社パイル部に入社致しました、田形啓多(たがた けいた)と申します。よろしくお願ひします。

早いもので入社してから1ヶ月以上が経ちました。この1ヶ月間は今のまでの人生の中で最も濃い1ヶ月だったと思います。私はまだ高校を卒業したばかりで社会のこともほとんどわからず、未熟者です。ですが土木のことに關しては普通の高校生よりもかなり知識はありと自分では信じています。なぜかという、高校は長沼にある静岡県立科学技術高等学校という所の都市工学科(土木科)で3年間、土木について勉

強をしてきたからです。そこでは土木のことは全般に勉強をし、実習の時間でもかなり沢山ありました。もちろん授業ではパイルのことも勉強しました。

また授業の一環として小型車両系の資格をクラス全員で取得し、学校から2人だけ選ばれて富士の教育センターという所で小型移動式クレーンの資格も取得できました。この2つの資格を最大限に活用でき、小さいころからの夢でもある「工事現場のお兄さん」になるべくヒダ株式会社のパイル部を受けてみようという決心しました。

入社してこの1ヶ月、事務所では頭の勉強をし、現場では体と目で勉強しています。今はまだなにもできませんが、これからは仕事内容をいち早く覚え作業に必要な資格をひとつでも多く取得し、少しでもヒダ株式会社と社会に貢献していきたいと思っています。これから多々迷惑をかけることがあるとは思いますが、精一杯がんばりますのでよろしくお願ひします。



職場だより

ヒダ(株)管理本部より

管理本部の紹介をさせていただきます。

管理本部は、昨年の暮れに赴任された小林管理本部長を筆頭に男性五名、女性三名からなる部署です。業務としては、会社の入出金を司ると共にグループ全体の財務を管理する部署でもあります。また、ヒダ株式会社の今後の戦略を司る経営企画室も兼ねており、日々、月々、半期、年間と営業部署に先駆けて営業の羅針盤の役目も果たしています。

しかし、昨年末より政治の政策、三月十一日の東日本大震災の影響は、今までにない大きな影響を当社に与えようとしています。変動する営業成績を前に日々あらゆる形で対処できるように奮闘しているところです。



■管理本部のみなさん

これからも、各部署、各担当に厳しい注文をお願いする場合もあると思いますが、ひとえに会社の為、社員一人一人の為に考えての行動や言動です。会社が一つの方向に向かって邁進できるようにバックアップしていく部署であると思っています。ければと思います。今後もしよろしくお願ひします。

(管理本部 伏見 典浩)

大東コンクリートヒダ興業(株) 大東工場より



大東コンクリートヒダ興業(株)
榎葉 宏

初めまして、大東コンクリートヒダ興業大東工場勤務の榎葉です。みなさんも御存じの通り、大東工場はヒューム管・プレホール・生コンの製造出荷をしております。

私が初めて大東工場に勤務したのは、平成元年でした。人材派遣員として5年間在籍し、その後平成5年2月に正社員として、23年間大東工場に勤務しております。入社した頃は、プレホールに携わり、ピーク時の出荷は1日100トンもあり、場内削孔場にて朝から夜中までプレホールに穴を開けていた事を覚えております。その後ヒューム管の仕上げ出荷を担当し、たまに生コン運転手と

なり、又大型ユニック車で製品を現場まで配達していた事もありました。出来る事は何でもやるという現在の「多能化」が実施されていたように思います。

現在は工場長として、工場の管理をしており、以前はパソコンなど使えなかった私も今では教えてもらい多少使えるようになりました。現場とは異なる未経験の管理部門は覚える事が沢山有り、工場で運営する立場の難題も抱え日々勉強する毎日です。

公共事業の削減から大東工場の出荷量は年々減ってきており、今年度の従業員数は、社員11名・パート5名、人材7名の23名体制となっており、利益を生む工場を目標に経費削減を実施し、事務所では、電話回線を2回線解約、自動販売機3台解約、コピー機1台解約、コピー用紙再利用等、工場内では製造計画を検討し、ライン毎の集中製造を行い、一人二役いや三役と、最大限の力を発揮できるよう製造出荷作業をしています。

また中部電力浜岡原発の停止より節電が報道されています。大東工場でもコスト削減で電気料金の削減を行っておりますが、これ以上に節電を踏まえ作業終了時のブレーカーのOFF、事務所内電気の消灯と、使わない電気は消す事にしています。もし大東工場に立ち寄った時に事務所内が暗くなっていたら、節電中と思って下さい。

以上従業員が一人となり頑張っておりますので、よろしくお願い致します。

人事消息

《入社》

小池 潮美 (4月1日付)
ヒダ(株) マテリアル部
佐々木 水緒 (4月1日付)
ヒダ(株) マテリアル部
田形 啓多 (4月1日付)
ヒダ(株) パイル部
渡辺 花子 (4月1日付)
芙蓉興発(株) 伊呂波店
古庄 太一 (4月1日付)
芙蓉興発(株) 草薙店

《昇格》

岩科 充彦 (5月21日付)
ヒダ(株) パイル部 副部長
増田 正文 (5月21日付)
ヒダ(株) パイル部 課長
原田 彰子 (5月21日付)
ヒダ(株) ライフライン部 課長代理
北川 淳 (5月21日付)
ヒダ(株) 管理本部 課長代理
林 賢治 (4月1日付)
芙蓉興発(株) 神明町店 主任
秋山 芳章 (4月1日付)
芙蓉興発(株) 沼津店 主任

《異動》

田代 大輔 (4月4日付)
前任 ヒダ(株) マテリアル部
新任 ヒダ(株) モバイル通信部
小堀 貴雅 (5月21日付)
前任 ヒダ(株) ウォール部
新任 ヒダ(株) ライフライン部

山口 徹 (4月19日付)
前任 芙蓉興発(株) 草薙店
新任 芙蓉興発(株) 神明町店

《大東コンクリートヒダ興業(株) 新役員体制》

取締役会長 肥田 隆輔
代表取締役社長 廣島 明男
代表取締役専務 肥田 渉
取締役 蓑手 修
取締役 工藤 秀樹
監査役 佐藤 裕樹
監査役 肥田 洋子

『慈悲共生』



株式会社TOKAI
取締役 建築住宅事業部長
塩川 恭弘 様

今回の寄稿にあたりヒダグループ様が百四十四年もの社歴を積み上げてきたことを改めて知り、現在まで社業の繁栄を支えてこられた経営者・従業員の皆様に敬意を表したいと思います。

私もTOKAIグループも昨年、ようやく六十周年を迎えることが

出来ました。これもひとえに地域の方々のおかげと感謝しております。

当社はガスの販売事業で創業し、建築住宅事業、CATV・情報事業、アクア事業、その他グランディエールブケトールカイをはじめとしたサービス事業と事業領域を拡大してまいりました。さらに今年の4月から、ホールディング体制のもと、新たな付加価値をもった新サービスの提供を目指し、トータルライフコンシエルジュの旗印の下、事業を展開しております。今後、TOKAIグループをよりしく願っています。

さて、東北大震災は被害を直接受けられた方々はもちろんのこと、原発で避難を余儀なくされている方、風評被害に晒されている方をはじめとしてほとんどの日本人が何らかの影響を受ける事態を招いています。

いま、我々は何を精神的な支えにして生きていくべきなのか？時々自問することがあります。

『慈悲共生』という言葉があります。聖徳太子によると、

『慈』とは、人に楽しみを与えること。

『悲』とは、人の悲しみを取り去ること。

そして共に生きていく。ということとです。

一時、我々日本人は金銭的な満足感を最優先していた時代がありました。また、物の所有に拘っていた時代もありました。しかしながら、今回の

大震災をきっかけに今までの価値観が変化したと感じている方が多いと思います。今こそ、自分のことだけを考へるのではなく、『慈悲共生』の心を共有し、再生した日本を我々の子供たちに残そうではありませんか。

また、富士に住んでいる私は2度の計画停電を経験しました。こんなにも電気に頼っていたのかと気づく機会となったと同時に、今までの生活が如何に贅沢なものであったのかと、家族と共に痛感し反省もしました。

若い頃、『自分の生活は下を見て。仕事は上を見て』とよく上司に言われたことを思い出し、今後も肝に銘じて生きていかななくてはならないと思っています。

最後に、今回ヒダグループ様の社内報に寄稿するチャンスを頂きありがとうございました。

また、日頃から肥田代表や肥田渉専務には当社社業へご協力を賜り、紙面をお借りしてお礼申し上げますと共に、貴社の益々のご発展を祈念しております。

モバイル通信情報

『ドコモ新商品情報』

2011年5月下旬からドコモ2011年夏モデルが順次発売されました。

今回の夏モデルはスマートフォン9機種、従来のケータイ(フィーチャーフォン)12機種をそろえ、春モデルの

「Xperia arc S001C」、「MEDIAS N04C」、「Optimus Pad L06C」を含めるとスマートフォンは12機種でラインアップの半分を占めます。

スマートフォンはスーパー有機ELプラスとデュアルコアCPUを搭載した「GALAXY S II S002C」をはじめ、スリムな防水モデルの「MEDIAS WP N06C」、おサイフケータイや赤外線通信を備えた「Xperia arc S002C」、「ツインカメラと3D液晶付きの「AQUOS PHONE SH12C」、使いやすさにこだわった「F12C」、タッチスピードセクターを採用した「P07C」、高輝度ディスプレイを備えた「Optimus bright L07C」、「ワイヤレス充電対応の「AQUOS PHONE f SH13C」など充実のラインアップです。

STYLEシリーズからはイルミネーションにこだわった女性向けモデル「F10C」、タッチパネル対応の「P04C」、12色から自分に合ったカラーを選べる「P06C」、上下で質感が異なるデザインが特徴的な「SH11C」をラインアップ。

PRIMEシリーズからは、ドコモ初のカシオ端末で1630万画素の「CA01C(EXLIMケータイ)」をはじめカメラ機能をさらに強化しています。

SMARTシリーズからはスリムな防水ケータイ「F11C」とタッチパネル対応のスライド端末「N05C」

の2種類が用意されています。

ドコモショップ 静岡安東店では各種デモ機を取り揃えております。ご来店いただければ、あなたにぴったりのケータイをご案内させていただきますのでお気軽にご来店ください。



■スマートフォン



■STYLEシリーズ



■PRIMEシリーズ



■SMARTシリーズ

私の趣味

『モンハン Part2』

ヒタ(株) 谷迫 いずみ

狩祭り、解禁！

〜モバイル狩りへ出かけるの巻

登場人物

・わたし

(モバイル通信部 モバイルプラザ 静岡駅前店 谷迫いずみ)

・answer1412

(モバイル通信部 ドコモショップ 静岡安東店 赤崎翔太)

・きいろ

(モバイル通信部 auショップ 静岡井宮 渡邊真子)

・あみゆみゆ

(モバイル通信部 auショップ 静岡井宮 石井亜好紗)

●5月11日(水)PM8時頃

モンハン集会開催

●集会場所は「answer1412」宅

その日は狩りにふさわしくない大雨でした。

大事な大事なPSPが濡れてしまっ！と。

そんなこんなで「answer1412」宅到着。

既に、「きいろ」、「あみゆみゆ」、「answer1412」は狩りに出かけていました。

お相手はパブルボッカ。

大口開けて突進してくる、砂漠の魚？みたいなモンスターです。

しかも、最大級の大きさだったので、手こずりながらも無事狩る事ができ、その後我先にと剥ぎ取っていました。

その間、暇々なわたしは農場に行つて、ハチミツ採取やアイルーのお世話をしていました。

狩りも一段落した所で「answer1412」お手製の水炊き鍋が登場！

水菜が煮すぎて色が変わっている事に、多少の不満を覚えたものの、味はとても美味しかったです！

その後、数々のモンスターを狩りに行きましたが、「あみゆみゆ」が繰り出す閃光玉に、わたしは衝撃を受けました。

投げ方下手(笑)

全く、モンスターの目くらましになってない。

それでも、何回も投げってくれる「あみゆみゆ」が、とても可愛く感じました。

片手剣ハンター「きいろ」は、装備がおしゃれで、モンハンの知識が豊富でした。

それより何より、「きいろ」のアニメ声のオンステージがとても楽しかったです。

また、聞かせて下さい☆

「answer1412」は、文句なしにモバイルモンハン最強ハンターです。彼がいなければ、今回の集会は成り立たなかったでしょう。

そして次の日仕事もあるので、12時には帰宅をし、モンハン集会を思い出して楽しい気持ちで眠りにつきました……zzz

みんなも狩りに行こうぜよ！



いずみ



answer1412



あみゆみゆ(写真左)&きいろ(写真右)



私のペット

芙蓉興発(株) 林 賢治

芙蓉興発(株)神明町店の林 賢治と申します。

今回は我が家で飼っている「猫」の紹介をさせていただきます。

名前は「プル」と言います。(肉球がプルプルなので名付けました)種類はスコティッシュホールドというイギリスの猫で、顔は丸く、耳が折れているところが最大の特徴です。

5年前に近所のペットショップで一目惚れし、すぐに家族の一員になりました。

プルは完全な屋内飼いで、普段はゲージの中で暮らしています。1日に1回ゲージから部屋に出ることが唯一の楽しみようで、出た瞬間からドタドタ音を立てて走り回ったり、ネズミのおもちで遊んだり、元氣いっぱい手が付けられないほどです。

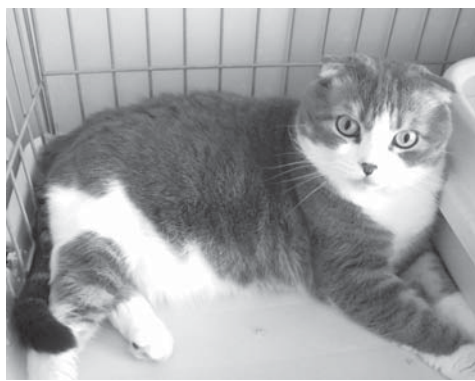
プルの大好物は鶏肉です！皆様は「猫は魚」と思われると思いますが、なぜか魚や鰹節などには一切反応しません。

特技は脱走です！(簡単な扉は開けます)

最近、人の言葉が分かるようで、爪を切らせてと言うと寝たふりをしたり、逃げ回ったりと余計な知恵をつけてきました。

それでも仕事から帰ると、起きてきて甘えたり、体を擦り付けてきた

りと、私自身とても癒されています。多少やんちゃですが、これからも大切に飼っていきたいと思います。



連載リレー小説

編集部より、新たな試みとして「リレー小説」を開始したいと思います。新聞の連載小説のイメージですが、次のようなルールで開始したいと思います。

- 作者が毎回異なる。
 - 今回の作者が次回の作者を指名する。
 - 指名を受けた作者は前回の内容を踏まえ、続きを作成する。
 - 教訓となる事柄を織り込む？
 - 実名を挙げての誹謗中傷は行わない。
- 以上のルール内であれば、ミステリーだろうが、SFだろうがOKとします。

【第1話】

朝日が眩しい。石橋はあと5分寝たいという衝動を抑え、起き上がった。

昨日の事を思い出そうとするが、最後の方の記憶が無い。ビール2杯と焼酎を何杯か飲んだとこまでは覚えていたのだが。記憶が無くなるまで飲んで、朝目が覚めるといつもの布団で寝ている。

これを特技と言えるだろうか？

昔は飲み過ぎた翌日は後悔し、飲み過ぎは止めようと思ったものだが、現在に至るまで実行できた事はない。今では後悔するだけ無駄だと悟った。

ケータイが鳴った。かけていたアラームだ。アラームを止めようと、何気なくケータイを手にとると、昨日着信があった事に気付く。

見覚えの無い電話番号。伝言メモが登録されている。何を考えるでもなく、伝言メモを確認する。

女性の声だ。

「未来の日本から電話をしている。助けて欲しい。また明日同じ時刻に電話する」

まだ酔っているのだろうか？

数十秒様々な考えが頭を駆け巡る。イタズラの間違い電話だろうという結論に達した。

今日は大事な商談だ。

ゆつくりしてはいられない。

身支度を整え、眠気とダルさを深呼吸吸と同時に飲み込むと、玄関の扉を開けた。

いつもと変わらぬ朝だった。

石橋は時空を超えた大きな渦が自

分を取り巻きつつあることをこの時はまだ知る由も無かった。(続く)

● 今回作者

ヒタ(株)モバイル通信部 石川一輝

● 次回作者

ヒタ(株)バイル部 大石祐里

● 今回の教訓

「飲みすぎには注意しましょう」

● 次回予告

謎の女性登場←



社内報が出来るまで

社内でのコミュニケーションツールとして活用される社内報。この社内報がどのように出来るのかをご紹介します。

1.企画

各編集委員が次号の案について考えます。(社内報の戦が開幕)

2.編集会議

提出された意見をもとに何をどのように盛り込むのかを検討し決定します。(いざ戦場へ)

3.原稿執筆依頼

決定内容に沿ってグループ社員の皆様、お取引先様に原稿の執筆、写真の提供などを依頼します。(謙虚さと感謝の心を忘れずに)

4.データ編集

提出された原稿データを社内報用のレイアウト(Word)に編集、誤字、脱字がないかチェックします。(ドライアイとの熱き戦い)

5.印刷会社へ入稿

写真データと共に印刷会社へデータを渡します。(時休戦に)

6.校正

印刷会社からの仮刷りを確認、校正を行い本刷りへ。(最後の最大集中、そして勝利へ)

7.納品

校正から2週間程度で納品皆様のお手元へ。(社内報の戦が閉幕)

約3ヶ月かけて社内報が完成します。そしてまた次の戦が始まるようになります。

(社内報編集委員)

前回「頭の体操」答え

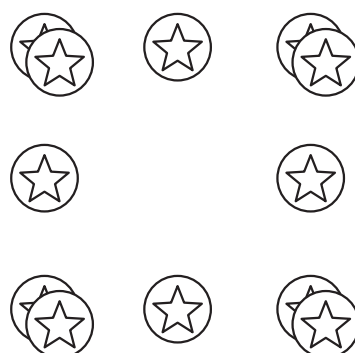
【問題1答え】

太枠内の漢字が入ります。

五	月	雨		高	品	位
里		期			行	向
霧	雨		進	行	方	
中		満	月		正	
	仲		歩	合		無
時	間	差		理	不	尽
雨		異	文	化		蔵

【問題2答え】

2枚に重ねて1辺5枚にするのがポイントです。



編集後記

3月11日に発生した東日本大震災から4ヶ月が経とうとしています。

今回の大地震では、これまでの防災認識の甘さに気付かされ、今まで以上に自然災害の恐ろしさを痛感しました。「がんばろう日本!」「私たちにできること」よく見聞きする言葉ですが、「過性のものとならないように心に刻み」日も早い復興を願いたいと思います。

さてこのたび、グループ各社員の皆様のご協力により第25号を無事発行することができました。今号から新たな試みでもあるリレー小説がスタートしましたがいかがでしたか？

今後ともより一層親しみやすい社内報づくりを目指し、編集委員一同努力していきますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

(社内報編集委員)